

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和5年10月～12月)

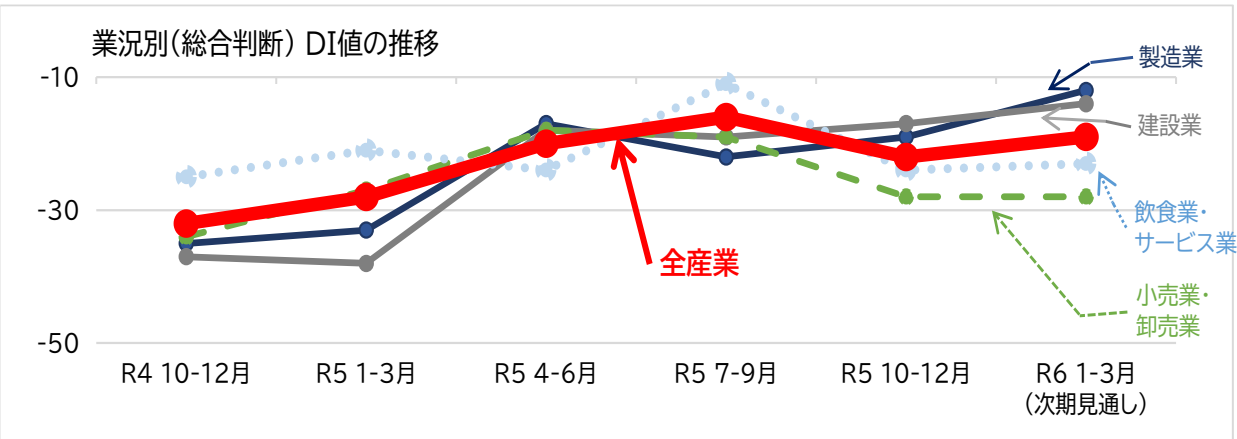
景況は業種によりばらつきが出てきている。製造業・建設業は引き続き回復基調であるが、夏季は好況だった小売業やサービス業など消費者向けのビジネスは、景況はやや悪化した。

ポイント

- ▶ 令和5年10月～12月期の総合業況DIは▲22と、前期▲16から6ポイントの悪化であった。製造業(前期▲22・今期▲19)と建設業(前期▲19・今期▲17)が小幅の改善であったが、飲食業・サービス業(前期▲11・今期▲24)と小売業・卸売業(前期▲19・今期▲28)が大幅に悪化した。
- ▶ コメントによると、需要が戻り好況の企業と、コスト高の影響が厳しい企業で、明暗が分かれているようである。コロナの影響が去ったにもかかわらず需要が戻らない業種も見られる。補助金や支援制度がなくなり厳しくなることを懸念する声もあがっている。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲19と、今期▲22から3ポイントの改善の見込み。製造業(今期▲19・次期▲12)は改善の見込みで、建設業(今期▲17・次期▲14)も若干の改善の予想である。今期落ち込んだ飲食業・サービス業(今期▲24・次期▲23)と、小売業・卸売業(今期▲28・次期▲28)は、今期と同様な景況が続くとみられている。

各業界から寄せられたコメント

- ・【ストレージ製品の製造・販売】ユーザー層である金融業界の設備投資が好転しており、この半年から1年は順調にすむ想定。
- ・【建具工事業】補助金のおかげで売り上げは順調。補助金がなくなった後が心配。
- ・【特産品販売】昨年は、神奈川割り等の補助金が売上増額に寄与していたが、今年度はそれがいないために昨年度比で言うと苦戦している。
- ・【美容業】来店客の単価はむしろ上がっているが、来店頻度は減っていると思う。



	前年同期概要 (R4.10-12)	前々期概況 (R5.4-6)	前期概況 (R5.7-9)	今期概況 (R5.10-12)	次期見通し (R6.1-3)
製造業	▲35	▲17	▲22	▲19	▲12
建設業	▲37	▲18	▲19	▲17	▲14
小売業・卸売業	▲34	▲18	▲19	▲28	▲28
飲食業・サービス業	▲25	▲24	▲11	▲24	▲23
全業種(総合)	▲32	▲20	▲16	▲22	▲19

業況天気図凡例				
快晴	晴れ	薄曇り	小雨	雨
DI値 30以上	DI値 30~11	DI値 10~▲10	DI値 ▲11~▲30	DI値 ▲31以下

調査期間: 令和5年10月1日～12月31日
回答率: 15.6% 回答者数: 578件
調査対象: 当所会員事業所3,706事業所

＜＜景気観測調査＞＞
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。